

林野庁長官賞

オレンジシステムで市場活性化へ
小売店、大工・工務店を加工・営業面で支援

株式会社東京木材相互市場

代表者 磯貝 英一

□事業体の構成

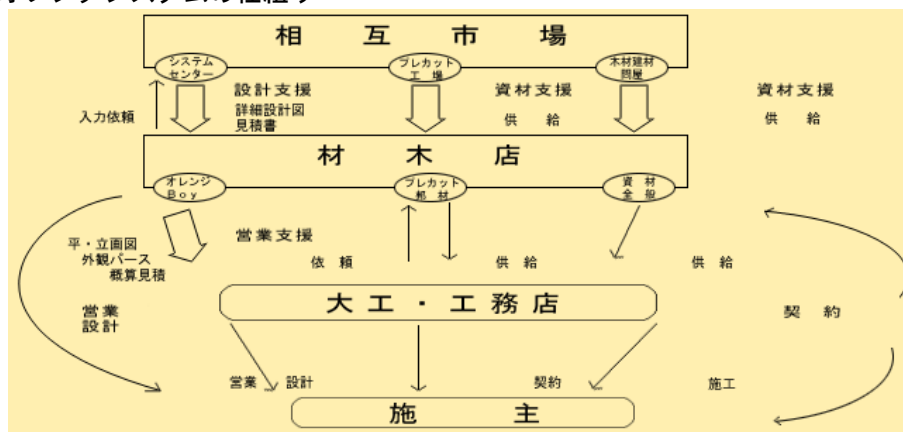
関東地域に4市場、木材センター3

〒369-10 埼玉県北足立郡吹上町袋1番地

TEL0485-48-6655



□オレンジシステムの仕組み



1 地域の概要

県内には14の製品市場があり、その取り扱い量は、約40万m³に及んでいる。

木材卸売業者は217事業所、木材小売業者は846事業所と、木材の消費が多い地域である。

大手ハウスメーカーの進出、既存流通の合理化によって今まで住宅供給に構造的変化が生じている。

2 事業内容等

(1) 事業の目的

木材市場の売上げの落ち込みから、木材の需要をささえる傘下の小売店、大工・工務店の加工支援、設計、営業支援を目的とする。

(2) 事業の内容

(1) プレカット

(2) オレンジボーイ (ノート型パソコン)

(3) CAD

により7市場の小売店、及びその小売の得意先である大工・工務店を加工資材の供給、建築図面の作成といった面で、広く営業支援するシステムを構築した。

(3) 施設の整備状況

プレカット工場 1 (75坪/1日)

システムセンター 1

(4) 事業の実績

プレカット加工の実績は順調に伸びを示していることによって市場からの木材の供給も順調に伸びている。

(平成7年のプレカット加工は計画3,000m³に対し3,400m³の実績となった。)

このようにして、既存の小売、大工・工務店の支援を市場が行うことで活性化が図られている。

種 別	平成7年度		平成8年度	
	計画	実績	計画	実績
プレカット材	9.300坪	10.336坪	18.000坪	19.676坪
オレンジボーイ (パソコン)	50台	60台	10台	12台

(5) 今後の取組

プレカットについては羽柄材の生産、パネル化を予定。

7市場の傘下の小売店は4,000社、まだまだオレンジシステムの潜在需要はある。

オレンジボーイの活用については、これからシステムの改良を重ねて順次充実させていきたい。